

グローバルサイエンス (GS) 世界に誇る霧島学①

5月24日(金)、「世界に誇る霧島学①」として、霧島市役所の霧島観光PR課の亀石和孝さんに、霧島市の観光資源について講義を受けました。講義では、観光という観点から、霧島の持つ自然環境、歴史、文化、産業、特産物等について学び、観光行政や課題等についても教えていただきました。講義の最後に、地域創生の鍵は、

- ① 住んでいる人がその地域に関心を持つこと
- ② 住んでいる人がその地域の良さを知ること
- ③ 住んでいる人がその地域に愛着を持つこと



亀石さんの話

であるとおっしゃいました。生徒一人一人が故郷を愛する心を育み、豊かな自然を愛し、故郷の持続的発展に貢献し、グローバルな視野で課題を発見・解決する人材へと成長してくれることを願っています。



グローバルサイエンス (GS) 課題研究基礎講座①

5月31日(金)「課題研究基礎講座①」として、藏満司夢先生を講師にお招きして、講義していただきました。藏満先生は本校と同じSSH校のご出身で、現在は博士課程を修了して、現在筑波大学にお勤めです。研究主題は昆虫に寄生する蜂の研究です。内容は以下の通りです。

①自らの高校時代に何を考え、それからどのようにして博士号を取得したのかということ、②英語を使い、自分の意見を表現する重要性や人類がもつ知識を少しでも広げることが大切であること、③課題研究や探究活動で重要なことは、まだ誰も調べていない内容が含まれていることであること、④他の研究者が自分の行った研究結果を活用していくことが喜びであり、大切だということ。⑤そのためには自分の研究を発表だけではなく、出版物として文章を残すことを心がけてほしいということ。寄生する蜂の大部分には名前がついていないそうです。

つまり新種が数多く存在するとのこと。誰か課題研究で取り組んで、新種を見つけみたらいかがでしょうか。



熱心な質疑応答

なお、1学年の学校設定科目グローバルサイエンス(GS)の本年度年間計画の概要は以下の通りです。

- ① 「世界に誇る霧島学」(4回程度): 霧島の探究資源を学ぶ
- ② 「課題研究基礎講座」(4回程度): 課題研究の意義、手法を学ぶ
- ③ その他の講座(4~5回): プレゼンテーション講習会、女性理工系研究者講演会、小論文基礎講座等
- ④ 研究発表会・アドバイス講座(3~4回): 課題研究中間発表会、校内発表会等
- ⑤ フィールドワーク(終日1回): サイエンス研修
- ⑥ テーマ設定研究(7回程度): 研究班をつくり、二学年で行う探究活動のテーマを設定する
- ⑦ その他



多少の変更はあると思いますが、事前・事後の学習を充実させ、昨年度以上の成果をあげられるよう、工夫したいと思っています。

